

～多次元ナレッジマネジメントを可能とする高度ペタバイトXMLストレージの研究開発～

委託先：(株)メディアフュージョン

研究代表者：代表取締役社長 榊原 淳

研究期間：平成16年9月～平成18年3月

主な研究実施場所：大阪府大阪市北区

研究成果：ストレージの動的拡張を実現、高速な処理を実現することを目的とした。サブテーマとして、XMLに対する統合的問合せ操作言語の研究開発、およびストレージの動的な拡張技術の研究開発を行った。

元来、拡張に対する配慮を行っていない構造に対して、その構造の変化を行わずに拡張のみを行うということを、それに起因する性能の低下などを起こさない範囲でその実装が完了した。またブロックサイズを複数管理することを、リポジトリの論理的構造を再定義し、それに沿ったリファクタリングを行った等の効果でスムーズに行うことができた。本開発でリポジトリの論理的な構造拡張に対しての一定の効果が得られた

と考えられる。

事業化については、カーナビゲーションシステムへの利用と製品化を目指しているが、他に、医療関係、健康増進関連の分野における利用など、ペタバイト級のデータベースに対するニーズをキャッチして応用したい。

研究成果説明図：

